鈴鹿川水系　内外水統合型の浸水想定図（1/150規模降雨）
【現況河道】

1. 説明文

（1）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／ 150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／150（0. 7%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、現況の鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1／150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／150（0. 7%））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定範囲内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
　また、下水道からの氾濫は、塩浜地区、楠地区、河原田地区、内部地区、東御幸地区、金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川：平成7年5月型、鈴鹿川上流：昭和28年9月型、内部川：昭和40年9月型、安楽川：昭和36年6月型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1)	公表年月日	令和8年3月31日	
(2)	作成主体及び対象となる河川	作成主体 ：国土交通省中部地方整備局及三重河川国道事務所 対象河川 ：鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川、椋川、天白川、寺川、金剛川、鎌山川、鎌川、芳川、笹川、椋川、小野川、寺尾川、小島川、星見川、楠春川、金沢川	
(3)	洪水浸水想定（左記河川のみ記載）	鈴鹿川水系鈴鹿川	左岸：三重県鈴鹿市国府町平野中村1地先から下流まで 右岸：三重県鈴鹿市国分町北平木下1997番地地先から下流まで
		鈴鹿川水系鈴鹿川派川	全区間からの分派から下流まで
		鈴鹿川水系内部川	左岸：三重県鈴鹿市安佐之木新町字井ノ口997番地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県鈴鹿市安佐之木新町字中川原1499番地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系安楽川	左岸：三重県鈴鹿市椋川字平野1743番の4地先から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県鈴鹿市椋川字平野1・関710番の5地先から鈴鹿川への合流点まで
		鈴鹿川水系椋川	左岸：三重県鈴鹿市椋川字平野1・関710番の5地先から下流から鈴鹿川への合流点まで 右岸：三重県鈴鹿市椋川字平野1・関710番地先の下流から鈴鹿川への合流点まで
		天白川水系天白川	左岸：三重県鈴鹿市寺内山向分1丁目1番 右岸：三重県鈴鹿市寺内山向分1丁目1番
(4)	算出の前提となる降雨	鈴鹿川水系鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川（宮川除く）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量265mm）
		鈴鹿川水系椋川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量185mm）
		天白川水系天白川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量115mm）
		鈴鹿川水系鈴鹿川（宮川流域）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量180mm）
		鈴鹿川水系内部川（宮川流域）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量176mm）
		鈴鹿川水系安楽川（宮川流域）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量187mm）
		鈴鹿川水系寺川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量108mm）
		鈴鹿川水系金剛川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量95mm）
		鈴鹿川水系鎌山川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量95mm）
		鈴鹿川水系鎌川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量95mm）
		鈴鹿川水系芳川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量190mm）
		鈴鹿川水系笹川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量129mm）
		鈴鹿川水系椋川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量129mm）
		鈴鹿川水系小野川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量129mm）
		鈴鹿川水系寺尾川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量105mm）
		鈴鹿川水系小島川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量105mm）
		鈴鹿川水系星見川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量105mm）
		鈴鹿川水系楠春川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量161mm）
		金沢川水系金沢川	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量162mm）
		下水道等（塩浜地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量278mm）
		下水道等（楠地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量265mm）
		下水道等（河原田地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量240mm）
		下水道等（内部地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量108mm）
		下水道等（東御幸地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量129mm）
		下水道等（金沢地区）	年超過確率1／150（鈴鹿川流域4時間の降雨量162mm）
(5)	河道等条件	現況（河道・洪水調節施設・下水道施設）	
(6)	関係市町	鈴鹿市、亀山市、名張市、伊賀市	
(7)	その他計算条件等	①この図は、主要河川（洪水予報河川及び水位周知河川）・その他河川（主要河川以外の一般二級河川）・下水道等（雨水河川、普通河川、各種排水路）で越水・破堤した場合の浸水想定範囲を表しています。 ②この図は、鈴鹿川水系の河川の両岸から上流に向かって、一定の条件で越水・破堤させた上での氾濫解析を実施し、その結果を基に作成したものです。 ③氾濫計算は、対象河川を5m間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として氾濫計算しているため、微地形による詳細が表現できない場合があります。 ④浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の最大浸水深を算出し、周辺する計算メッシュとの連続性や地盤高と標高値（道路や堤防の盛土など）等を考慮して囲む、としています。	

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.3m未満の区域
- 0.3m～0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定区域指定の対象となる洪水予報河川・水位周知河川

0 1 2 3 4 5 km

この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１４号）